

2019(令和元)年度活動報告

2019年度(平成31年4月1日～令和元年3月31日)

I 地域情報化の推進活動

国、長崎県をはじめ、市町村、各種団体等と地元企業が協力・提携しながら、課題解決に向けての取り組みや施策への提案を行い、県・市事業へ参画し成果が出ている。

また、国内外の情報サービスに関わる情報やデータを収集し、会員企業及び地域情報サービス産業の発展に役立つよう活動した。

I・1 長崎県次世代情報産業クラスター協議会(敬称略)

会長 中野 一英(NISA 会長)、 副会長 大神 吉史(大新技研(株)代表取締役)

ロボットやIoTに代表される第四次産業革命の技術については、社会への急速な普及が進んでいるが、県ではこの流れを的確に捉え、高度専門人材の育成や県内企業間の連携促進を目的とした「長崎県次世代情報産業クラスター協議会」が設立された。

H30-5-9(水)設立総会で、会長、副会長(いずれも NISA 会員企業代表)が選出された。

本協議会活動は「長崎県 IoT 推進ラボ(地方版 IoT 推進ラボ:経産省選定)」の事業の一環として実施する。

(1)目的

県内のIoT、ロボット、組込み関連産業の高度人材の育成や、これらの先端技術を提供する企業と活用する県内企業とのマッチング等によって、技術の活用を促進するとともに、事業拡大や新たなサービスの創出等につなげ、県外需要の獲得や生産性の向上、付加価値の向上等を図ることを目的とする。

(2)事業

協議会では、前条の目的を達成するため、長崎県が実施する次の事業に参画する。

- ・ロボット・IoT等の分野における高度専門人材の育成
- ・普及啓発セミナー、導入企業向け基礎講習会等の開催
- ・製品・サービス等の開発による事業化のためのマッチングと伴走型支援の実施
- ・開発実証に係る外部資金等の獲得支援及び補助金による支援

(3)会員

NISA 会員および、長崎県製造業企業などが会員登録。会員登数 155 社(2020-6-9 時点)

(4)主な活動項目(詳細は NISA-HP「長崎県次世代情報産業クラスター協議会」に掲載)

- ・長崎大学大学院工学研究科<社会人向け> IT 先端技術習得講座 2019 年度受講生募集
- ・「令和元年度 長崎県モデルベース開発講座」参加募集のご案内
- ・『第4次産業革命 エグゼクティブビジネススクール』のご案内
- ・マイコンプログラミング講座 参加募集のご案内
- ・システムインテグレーター育成講座(第1回、第2回:ロボット分野)
- ・長崎大学が行う<社会人向け>IT 先端技術習得講座
- ・「九州発 AI ベンチャー「スカイディスク」による AI の基礎習得・自社ビジネスモデルの構築講座のご案内」
- ・「生産ライン設計 のポイントを学ぶ実践講座」開催(11/25~)のご案内
- ・「デザイン思考による付加価値創造講座」開催(2/27、2/28)のご案内
- ・「先端技術を活用して解決に取り組む企業の課題募集」のご案内

I・2 長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki)(敬称略) :会長 佐藤 康彦(NISA 副会長)

長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki)は長崎県内の産学官が一体となり、また、九州域内の関連企業と連携し、県内における組込みソフト技術の向上とこれに関連する地域企業の振興を支援すべく、H22年6月に結成、活動を開始した。

(1)目的 県内企業での新事業への進出や事業拡大の支援を推進する。

- 1)地元企業でのビジネスチャンス実現に向けた支援
- 2)企業による県等の補助金申請書作成への支援
- 3)関連情報の提供とパートナーの紹介
- 4)長崎県内/九州域内のネットワークを通じた支援

(2) 関連団体

長崎県、長崎市、長崎総合科学大学、九州IT 融合化システム協議会(ES-Kyushu)、
(一社)長崎県情報産業協会(NISA)、西九州組込み技術コミュニティ(NET-C)、
東長崎エコタウン協議会(ENEC)

I・3 ながさき ICT 戦略研究会(長崎県)

(1) 基本理念

ICT(情報通信技術)を本県のような様々な分野における諸課題に対して、積極的・重点的に利活用し、「人、産業、地域が輝くたくましい長崎県づくり」を推進

(2) 推進期間

2016(平成28)年度から2020(令和2)年度まで(5年間)

(3) 目指すべき方向性

基本理念を実現するため、目指すべき方向性として4項目の「基本方針」を定め、各項目に関する施策を積極的に展開

<基本方針・戦略構成>

- 1) 利便性の高い電子行政の構築(クラウド環境、オープンデータ・ビッグデータ、電子行政サービス)
- 2) 安全・安心に暮らせる地域社会の実現(医療・介護・健康、防災・減災、子育て支援・見守り、防犯・バリアフリー、公共インフラ)
- 3) ICTの利活用による産業の活性化(ICT関連分野等、農林水産業、情報発信・通信・環境等、多様な働き方)
- 4) ICT社会を推進するための人材 育成・基盤強化(ICT教育・人材、情報セキュリティ基盤)

(4) NISA 参加会員(14社)

(株)イシマル、エコー電子工業(株)、(株)NDKCOM、NBC 情報システム(株)、扇精光ソリューションズ(株)、
オフィスメーション(株)、十八ソフトウェア(株)、(株)ドゥアイネット、(株)長崎ケーブルメディア、(株)日本ビジネスソフト、
不動産研工業(株)、(有)ランカードコム、(株)十八銀行、(株)親和銀行、西日本電信電話(株)西日本支社
(他 NISA 会員外)長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、(公財)ながさき地域政策研究所、
(株)長崎経済研究所、長崎県新産業創造課
オブザーバー:システムファイブ(株)、一般社団法人長崎県情報産業協会

I・4 長崎県サイバーセキュリティに関する相互協力協定(長崎県警察本部)

サイバー犯罪、サイバーテロの増加、インターネット上の違法・有害情報の氾濫、コンピュータウィルスの蔓延が社会問題となり、サイバー空間に対する県民の不安感も急速に高まっている中で、本協定は、社会全体での効果的なサイバーセキュリティ対策を推進することにより安全安心なサイバー空間の実現を目指すものである。

(1) 目的

この協定は、協定機関の相互理解による高い信頼と協力関係に基づき安全安心なサイバー空間の実現を目指すことを目的とする。

(2) 連携、協力の内容

協定機関は、前条の目的を達成するため、相互に連携、協力し、次の各号に掲げる事項を推進する。

- 1) サイバー空間の脅威に関する情報の共有
- 2) サイバー空間の脅威への対処に係る技術的支援
- 3) サイバー空間の脅威に対処できる人材の育成
- 4) サイバー空間の脅威に立ち向かう社会全体の意識の向上
- 5) 県警本部発行「サイバーセキュリティ通信」の HP 掲載と周知
- 6) その他協定機関が必要と認めるサイバーセキュリティに関する事項

(3) 協定参加機関

長崎県、長崎県警察、長崎県商工会議所連合会、長崎県商工会連合会、長崎県中小企業団体中央会、
(公財)長崎県産業振興財団、西日本電信電話(株) 長崎支店、(株)ラック、トレンドマイクロ(株)、長崎大学、長崎

(4)活動(NISA 参加)

開催日	場所	件名	議題
令和元年 8月3日(土) 13:30~14:30	長崎県立大 シーボルト校	令和元年度第1回長崎県 サイバーセキュリティ 研究会	・2019年度決算報告 ・令和元年度予算案及び事業計画案について ・セキュリティミニキャンプの共催について
令和元年 8月3日(土) 15:00~16:30	長崎県立大 シーボルト校	情報セキュリティ・セミナ ー	・講師: 明治大学大学院 先端数理学研究科 教授 菊池 浩明氏
令和元年6月 1日~9月18 日、表彰11月	受賞各学校 へ県警本部 より賞状授 与	第16回報モラル・セキ ュリティコンクール優秀 賞授賞式	全国優秀賞: ・一般社団法人JPCERTコーディネーションセンター賞 地域優秀賞: ・一般社団法人長崎県情報産業協会会長賞 ・長崎県ネットワーク・セキュリティ連絡協議会会長賞 ・長崎県警察本部警務部長賞

I・6 長崎県中小企業団体中央会関連

H31年度中小企業景況調査報告を代表会員4社により実施した。

第1四半期 (H31年04~06月期)	第2四半期 (H31年07~09月期)
第3四半期 (H31年10~12月期)	第4四半期 (R02年01~03月期)

II 交流事業

II・1 他団体・大学等との交流事業(敬称略)

(1)第41回全情連大会「ANIA 北海道・札幌大会」

一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(略称:ANIA)では、地域情報産業の発展や取引拡大に向けた情報交流等を行うことを目的に、毎年各地域の情報産業団体と共催で全国大会を開催し、平成29年度開催地は「長崎」、平成30年度開催は「青森」であった。

・開催:2019年(令和元年)10月11日(木)、12日(金)、場所:札幌グランドホテル

・NISA出席者:7名

(中野会長、瀧本副会長、須藤理事、柿田理事、山下理事、岩永社長(ケービーソフト株)、事務局長)

・主催:一般社団法人全国地域情報産業団体連合会、一般社団法人北海道情報システム産業協会(HISA)

・後援:経済産業省、総務省、北海道経済産業局、北海道総合通信局、北海道、札幌市、NoMaps実行委員

・会参加者:239名

(内訳:行政機関等(ご来賓)27名、会員企業等(IT関連企業経営者及び異業種交流者)212名、一般学生は除く)

1)ANIA大会式典(13:30~17:30)

来賓・前IT・科学技術担当大臣 衆議議員 平井 卓也

・経済産業省 商務情報政策局 地域情報化人材育成推進室長 大崎 美洋

・総務省 北海道総合通信局 局長 高野 潔

・北海道副知事 土屋 俊亮

・札幌市経済観光局長 村山 英彦

2)講演 ①テーマ「未来はつくるもの~北海道での取り組み~」

講師:クリプトン・フューチャー・メディア株 代表取締役 伊藤 博之

3)パネルディスカッション

①テーマ:「地方のIT産業の未来について」

②モデレーター:株式会社道銀地域総合研究所 執行役員地域戦略研究部長 清水 友康

③パネリスト:ANIA会員、北海道のIT企業代表

4)懇親会(18:30~20:00)会場:札幌グランドホテル・参加者:201名(内、来賓17名)

(2)ANIA通常総会(敬称略)

・開催日時:2019年(令和元年)7月11日(木)15:00~17:15

・場所:東海大学校友会館(東京 霞が関ビル35階)

- ・出席：(Nisa 出席 2 名)中野会長、事務局長(オブザーバー)
- ・議案： i)平成 30 年度事業報告および平成 31 年度収支決算報告
ii)平成 31 年度事業計画および平成 31 年度収支予算
iii)理事・監事の改選について

(3) ANIA 新春交流会 (敬称略)

- ・開催日時： 2020 年(令和 2 年)2 月 6 日(水) 18:00~19:30
- ・場所： 東海大学校友会館(東京 霞が関ビル 35 階)
一般社団法人日本 IT 団体連盟(IT 連盟)と合同で開催
- ・出席：(Nisa 出席 5 名)中野会長、須藤交流委員長、(株)ビーオルグ 代表取締役社長 福田 勝彦、
(株)相武システム 代表取締役社長 和田 雅資、事務局長

(4) ANIA 理事会

	日時	場所	出席	議題
第 1 回	R01-4-17(木) 15:00:~17:15	東海大学交友 会館	理事 8 名、監事 1 名 会員・事務局 12 名 中野会長(ANIA 理事)	・H 30 年度事業報告・収支決算について ・H 31 年度通常総会について ・ANIA 北海道大会パネルディスカッションについて ・日本 IT 団体連盟活動報告
第 2 回	R01-7-11(木) 15:00:~15:40	東海大学交友 会館	理事 8 名、監事 2 名 会員・事務局 26 名 中野会長(ANIA 理事) 事務局長(オブザーバ)	・正副会長の互選について ・会員交流事業に係る補助金申請について ・後援名義使用許可申請について
第 3 回	R01-10-17(木) 15:00:~15:40	札幌グランド ホテル	理事 9 名、監事 1 名 会員・事務局 20 名 中野会長(ANIA 理事) 事務局長(オブザーバ)	・海外視察について ・ペーパーレス化推進について ・経産省、総務省との関係強化について ・全国大会の若手交流会助成金について
第 4 回	R01-11-21(木) 15:00:~15:40	京都コンピュ ータ学院	欠席 (NISA 理事会と輻輳)	・会員組織構成の改革について ・地方の IT 産業のあり方について ・報告事項、その他
第 5 回	R02-2-6(木) 15:00:~15:40	東海大学交友 会館	理事 9 名、監事 1 名 会員・事務局 20 名 中野会長(ANIA 理事) 事務局長(オブザーバ)	・令和 2 年度事業計画及び予算について ・令和 2 年度定期総会開催日程について ・令和 2 年度第 1 回理事会開催日程について

(5) ANIA 事務局長連絡会議 (敬称略) 事務局長 出席

	日時	場所	出席	議題
第 1 回	R01-7-12(金) 10:00~12:00	八重洲倶楽部 第 2 会議室	事務局長	・北海道・札幌大会について ・海外視察について ・協会間連携について
第 2 回	R01-10-17(木) 10:00~11:15	札幌グランド ホテル	事務局長	・災害時の対応について ・EQ 研修についての報告定義拡大について ・VNITO Alliance について
第 3 回	R01-12-2(月) 16:00~17:30	福岡県 Ruby コンテンツ産業 振興センター	事務局長	・ANIA の活動について ・ANIA の存在について ・各協会の活動事例について
第 4 回	R02-2-7(木) 15:00~17:00	八重洲倶楽部 第 2 会議室	事務局長	・ANIA 活動に対する意見交換 ・各協会からの連絡事項に対する意見交換

II・2 長崎県立大学 講座「企業研究」

長崎県立大学情報システム学部情報システム学科では、カリキュラムに授業として「企業研究」を組み入れている。長崎県の情報産業について、情報産業協会へ講師派遣の依頼があり下記の通り実施した。

授業名	企業研究「長崎県の情報産業と課題」
講師	(株)NDKCOM 代表取締役 中野 一英(NISA 会長)
日時	R01-11-28(木)、第 3 時限目(13:00~14:30)
開講対象	情報システム学部 2 年生(32 名)、3 年生(6 名)
授業概要	時間 90 分(講義 45 分、グループワーク 45 分)

II・3 長崎県工業技術センターとの意見交換会 (敬称略)

県工業技術センターの研究成果の紹介、また技術交流の強化の為、意見交換会を開催した。

(1)日 時:2019 年(令和元年)12 月 19 日(木) 16:00~17:30

(2)場 所:出島交流会館 9 階 展示交流室(長崎市出島町 2-11)

(3)次 第

- (1)挨拶 NISA 中野会長 / 工業技術センター 橋本 亮一 所長(5分)
- (2)工業技術センターの概要説明(15分) 工業技術センター 橋本 亮一 所長
- (3)導入設備や研究事例の紹介 (5分) 工業技術センター 藤本 和貴 部長
 - ・新規導入設備の紹介
 - ・電子情報関係の研究事例紹介
- (4)長崎大学情報データ科学部の紹介(15分)
長崎大学教授 情報系新学部創設準備室長 西井 龍映
- (5)意見交換(50分)

II・4 通常総会・講演会・交流会 (敬称略)

(1)第26回通常総会

- ・日時: 2019年(令和元年)6月20日(木) 13:45~15:00
- ・場所: ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」
- 1)出席会員数: 正会員出席 41名、委任状 25名、合計 66名(総正会員 67社)
- 2)議決事項:
 - i)第1号議案 議事録署名人の選任の件
 - ii)第2号議案 平成30年度 活動報告並びに決算・監査報告 承認の件
 - iii)第3号議案 任期満了に伴う理事・監事の選任の件
- 3)報告事項
 - i)第1号報告 令和元年(H31年)度事業計画
 - ii)第2号報告 令和元年(H31年)度収支予算書(正味財産ベース)
 - iii)第3号報告 公益目的支出計画実施報告

(2)講演会(第26回通常総会) R01-6-20(木) 16:15~17:45 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」

- 1)演題:「ドコモの協創と5Gの取組み」
- 2)講師: (株)NTTドコモ 九州支社 法人営業部 ICTビジネスデザイン担当課長 齊藤 知彦氏
- 3)聴講者: 108名(会員 85名、非会員 23名)

(3)新年度産学官交流会 R01-6-20(木) 18:00~20:00 ホテルセントヒル長崎 2F「妙見」

- ・出席者数: 総数 108名(会員 85名 + 来賓 23名)

(4)新春講演会 R02-1-23(木) 16:00~17:30 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」

- 1)演題:「これからの経営の新基準~SDGsを戦略的に活用する経営とは~」
- 2)講師: 株式会社ビーコンラーニングサービス 代表取締役社長 近藤 雅人氏
- 3)聴講者: 115名(会員 87名、非会員 28名)

(5)新春産学官交流会 R02-1-23(木) 18:00~20:00 ホテルセントヒル長崎 3F「妙見」

- ・出席者数: 総数 117名(会員 82名 + 来賓 33名 + 会員外 2名)

II・5 我が社の一押し (敬称略)

会員の優れた製品・システム・技術・管理手法など、特徴あるものを紹介して、会員間のコラボレーションを深めることを目的とする。交流委員会で担当し、開催サイクルは下記の通り、2回/年開催した。

通常総会時 R01-6-20(木)	会 員	システムファイブ(株)	(株)システック井上
	テーマ	「五島・マグロ養殖基地化を実現するIoTシステムの実証事業」	「デザイン思考によるアイデア創造と AI 活用事例紹介」
	発表者	木村 福義氏	村井 浩一氏
新春産学官 交流会時 R02-1-23(木)	会 員	(株) 亀山電機	九州教具(株)
	テーマ	『IoT を活用した予知・予防保全システム』	『ICT を活用したホスピタリティの向上』
	発表者	総務部長 前田 康太郎氏	経営管理本部 社長室 室長 岡村 雅彦様

II・6 ビジネスコラボ事業

懇親を通して、会員間交流が進み、さらに「我が社の一押し」に参加して、発表企業が持っている「優れた技術・製品等」に理解を深め、ビジネスのコラボレーションが進むことを図りながら、下記の通り開催した。

	日 時	場 所
第 41 回	H31-4-25(木)、18:00~20:00	肉吉(にくきち)
第 42 回	R01-6-20(木)、18:00~20:00	VARIO
第 43 回	R01-7-25(木)、18:00~20:00	いけ潮博多屋(佐世保)
第 44 回	R01-8-22(木)、18:00~20:00	焼き焼き鉄板はまのや
第 45 回	R01-10-24(木)、18:00~20:00	串なべ by れっどぶ一つ
第 46 回	R01-12-19(木)、18:00~20:00	楽屋(がくや)
第 47 回	R02-1-23(木)、18:00~20:00	VARIO
(※中止)	※3 月以降はコロナ対策のため自粛中	

II・7 IPA 第 15 回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」会長賞選定

インターネットの安全利用への注意はさらに重要になっていると考えられることから、子どもたちがコンクール作品の制作を通して、インターネットの安全利用を意識できるよう、2018 年度 14 回目のコンクールが独立行政法人情報処理推進機構(IPA)主催で実施された。

昨年同様に後援し優秀賞(NISA 会長賞)を選定。表彰状を贈呈した。(県警が代表して各学校へ持ち届け)

【優秀賞 一般社団法人長崎県情報産業協会(NISA 会長賞)】

・標語部門「ちょっとまで 流していいの？その情報」

熊野 暉さん (諫早市立西諫早中学校 2 年)

・ポスター部門「投稿は一瞬、削除は一生、その前に考える一秒」

藤澤 優希さん (長崎県立佐世保北高等学校 1 年)

・四コマ漫画部門「情報化社会」 田中 響さん (長崎日本大学高等学校 2 年)

III 研修事業

III・1 研修事業(長崎県後援)

2007 年 6 月の(株)長崎ソフトウェアセンター解散により、地元で就業者の研修ができなくなり、長崎県産業労働部のご支援により、平成 20 年度(2008 年度)に開始した当協会主催による研修事業は、協会会員様のご賛同を得、人材育成の一端を担うことができた。

2019 年(令和元年)度は、会員の皆様から戴いたアンケート結果を反映し 75 講座から 22 講座を選定し開講した。受講者は目標の 200 名に対し 201 名を達成した。受講して戴いた企業の皆様に厚く感謝を申し上げる。

本事業は、NISA 一丸となって、佐藤研修技術委員長を中心に、峰松副委員長の並々ならぬご尽力と会員の皆様のご理解によって、大きな成果を上げることができた。また、県外(富山県)からの来崎受講が 2 件あった。研修計画から運営まで、ご協力頂いた会員の(株)富士通九州システムズ、及び研修会社の(株)福岡ソフトウェアセンター、麻生教育サービス(株)に感謝を申し上げます。

2019 年度 NISA IT 技術研修 実績報告					合計(延)	131	201		
		実施月	研修科目名	開催日	会 場	社 数	人 数	累計	平均
①	01s	6 月	AI/IoT の概要とビジネス創造 ～LEGO とデザイン・シンキングを使って創り出す～	6/12～14	D	9	14	14	14.0 名
②	02j	6 月	ネットワークとセキュリティの基礎	6/19～21	D	10	18	32	16.0 名
③	03s	6 月	IT 技術者のためのコミュニケーション ～「論理的」で「伝わる」意思疎通の技法～	6/26～28	N	5	6	38	12.7 名
④	04j	7 月	Python プログラミング ～基礎、データ分析、機械学習～	7/3～5	D	9	16	54	13.5 名
⑤	05j	7 月	ユーザーインターフェース設計の定石と UX デザインワークショップ(New)	7/17～19	N	5	8	62	12.4 名
⑥	06a	7 月	エンジニアのスキルを徹底活用するための書き方・話し方	7/24～26	N	5	6	68	11.3 名
⑦	07j	7 月	C#によるオブジェクト指向プログラミング(基礎編) ～オブジェクト指向からデータベースアクセスまで～	7/31～8/2	D	7	14	82	11.7 名
⑧	08j	8 月	システム開発におけるレビュー・テスト技術の定石	8/7～9	D	4	8	90	11.3 名
⑨	09s	8 月	信頼される SE に求められる問題解決スキル	8/21～23	D	7	11	101	11.2 名

⑩	10a	8月	仕事の段取り力養成講座 ～プロジェクト型業務の遂行能力を身につけるために～	8/28～30	D	8	12	113	11.4名
⑪	11j	9月	IT運用事例で学ぶヒューマンスキル ～問題解決、コーチング、ネゴシエーション～	9/4～9/6	N	4	4	117	10.7名
⑫	12j	9月	情報セキュリティ対策実践～基礎から学ぶセキュア環境 構築・運用入門編	9/11～13	N	3	3	120	10.1名
⑬	13a	9月	パフォーマンスを上げる SQL チューニング	9/25～27	D	5	9	129	10.0名
⑭	14j	10月	C#による Web アプリケーション開発(実践編) ～Web フォーム連携技術からアーキテクチャ設計まで～	10/16～18	D	5	12	141	10.1名
⑮	15a	10月	SQLServer で学ぶデータベース基礎	10/23～25	N	5	9	150	10.0名
⑯	16j	10月	サイバー攻撃におけるインシデント対応 ～疑似環境を用いた解析～	10/30～ 11/1	N	6	6	156	9.7名
⑰	17j	11月	システム開発における品質マネジメントワークショップ ～品質管理の基礎から実践まで～(New) 【募集中】	11/6～8	N	6	7	163	9.6名
⑱	18j	11月	実務で活用する UNIX/Linux の必須技術 【募集中】	11/27～29	N	5	7	170	9.5名
⑲	19j	12月	アジャイル開発手法によるシステム開発	12/11～13	N	3	3	173	9.5名
⑳	20j	12月	オブジェクト指向の本質に基づいたアプリケーション設計 ～品質、コスト、改修を意識した設計～	12/18～20	N	8	9	182	9.1名
㉑	21j	1月	ログ監視環境の構築とログ解析実践	1/15～1/17	D	7	12	194	9.2名
㉒	22a	1月	データベース設計とデータモデリング	1/29～1/31	N	5	7	201	9.1名
合計								201	9.1

Ⅲ・2 JISA 補助金による研修（「講演セミナー事業」）（敬称略）

JISA からの補助金「地域高度化事業(研修)」で下記を実施した。

(1)IoT 実践講座「人工知能入門講座」

日 時:R02-2-6(木)・7(金)

会 場:出島交流会館

講 師:NPO 法人九州組込みソフトウェアコンソーシアム 甘田 哲久氏

受講者数:8名(会員外受講:佐々町役場、㈱ウラノ)

Ⅲ・3 新入社員向け IT 技術者研修を実施（「受託事業」）（敬称略）

㈱エンベックスエデュケーションとタイアップし、厚生労働省「人材開発支援助成金(特定認定実習併用職業訓練コース)」を適用して、2019(H31)年度の新入社員研修を「長崎・佐世保」の2会場で開催し、23名(内、1名は熊本県より参加)の参加を得た。本研修は助成金制度の活用により、受講費用の負担を軽減でき、IT 技術のほか、ヒューマンスキル、社会人マナーの習得にも力を入れており、早期人材育成を図ることができたことと好評であった。

	長崎会場	佐世保会場
講 座	JavaWeb 技術者養成コース	C#.NET 技術者養成コース
期 間	2019/4/5(金)～6/5(水)(38日間)	2019/4/4(木)～6/4(火)(38日間)
会 場	バンポナルビル(4階 404-1号室)	佐世保交通会館(2階研修室)
講 師	㈱エンベックスエデュケーション 人材育成本部 嘉門 保夫	㈱エンベックスエデュケーション 人材育成本部 永島 博
受講者	8社16名	3社7名(内、1社1名は熊本県より参加)

Ⅲ・4 IPA「i(アイ)コンピデンシ デクシヨナリ」(中小企業向け IT スキル標準)

「i コンピデンシ デクシヨナリ」(以下、iCD)は、企業において IT を利活用するビジネスに求められる業務(タスク)と、それを支える IT 人材の能力や素養(スキル)を「タスクデクシヨナリ」、「スキルデクシヨナリ」として体系化したもので、企業は経営戦略などの目的に応じた人材育成に利用することができる。

本システムの活用を通じて、人材育成戦略の立案(Plan)、育成施策の実行(Do)、自組織のリソース状況の把握(Check)、目標の再設定(Act)といった組織における人材育成の PDCA サイクルを回す活動の一助となることが期待される。

H26、H27 年に「iCD ワークショップ」を長崎で開催し、会員 6 社[オフィスメーション(株)、(株)NDKCOM、不動技研工業(株)、(株)イシマル、NBC 情報システム(株)、扇精光ソリューションズ(株)]が参加した。

その後の活動を通して「iCD 活用企業認定」では、企業での iCD の活用レベルや成果の大きさに応じた認証レベルが付与され「Silver」3 社、「Silver Plus」3 社となった。

なお、推進母体は IPA から新たに設立された「(一社)iCD 協会(iCDA)」へ移行し、普及・ワークショップ活動が実施される。

(1) 活動を推進する為、情報交換会を実施

令和元年度は、全国各地で「iCD ユーザー会」が開催され GOLD 企業から活用事例の発表があった。

九州地区での開催は、コロナウイルス対策のため延期となり、令和 2 年度以降に開催される予定。

情報交換会	開催日時	開催場所(出欠)
大阪 第 1 回 iCD ユーザー会	2019-5-31、15:00~17:00	一般財団法人関西情報センター(欠席)
名古屋 第 2 回 iCD ユーザー会	2019-7-22、15:00~17:00	旭情報サービス(株) 中部支社(欠席)
東京 第 1 回 iCD ユーザー会	2019-5-23、15:00~17:00	東京市ヶ谷健保会館(欠席)
東京 第 2 回 iCD ユーザー会	2019-8-30、15:00~17:00	(欠席)
東京 第 3 回 iCD ユーザー会	2020-2-14、15:00~17:00	(欠席)

(2) 「iCD 活用企業認証」認証書およびロゴ

iCD 活用企業認証では、企業での iCD の活用レベルや成果の大きさに応じて認証レベルを用意している。認証レベルは、iCD 「Blue、Silver、Silver Plus、Gold★、Gold★★、Gold★★★」の 6 段階となる。

日本における iCD を飛躍させることを目的に iCD を導入し活用している企業を認証する制度をスタートし、「iCD 活用企業認証」されている企業を広く紹介している。

iCD の活用状況に応じて Blue/Silver/Gold 段階で認証した。NISA 会員の iCD 活用企業は、「Silver」、及び「Silver Plus」の認証を受けており、認証ロゴを HP・名刺等に記載し、企業イメージアップに利用できる。

Ⅳ 人材高度化能力開発事業(「助成金受給支援事業」)

H16 年度からキャリア形成促進事業を始め、H23 年度から成長分野等人材育成支援事業(奨励金)、また H25 年には日本再生人材育成支援事業(奨励金)を実施したが、成長分野・日本再生(奨励金)制度は H25 年度に終了した。

H26 から H28 年度は前制度を大きく改訂したキャリア形成促進事業を助成金受給支援事業として実施した。H29 年度からは、制度が大幅改訂され「人材開発支援助成金」となった。2019(H31・R01)年度は改訂版を引続き適用し実施した。NISA 研修において、研修事業と助成金・奨励金を活用する助成金支援事業は車の両輪であり、2019(H31)年度研修の訓練計画書および支給申請書の提出を積極的に推奨し、書類提出の支援を行った。

NISA 事務費:「人材開発支援助成金:10%(但し、認定実習併用職業訓練:1%)」として実施。

※人材開発支援助成金

IT 分野は、技術の進歩が日進月歩であり、常に最新技術を修得することが、企業の将来を左右すると言われている。人材こそが IT 業界における重要な経営資源であると認識され、多くの企業がその育成に尽力されている。NISA 事務局は助成金申請の支援を継続実施する。

なお、人材開発支援助成金は、特定訓練コース(35 歳未満で入社 5 年以内の者に対する若年者訓練・認定実習併用訓練等)と一般訓練コース(特定コース以外)に分かれており、それぞれの助成額・助成率が異なる。

また、生産性向上に係る要件として「特定訓練コース」、「一般訓練コース」共、訓練開始日の会計年度の前年度と比べ 3 年後に生産性が 6%の伸びを満たした場合に追加助成されるため、訓練開始日が属する会計年度の前年度から 3 年後の会計年度の末日の翌日から起算して 5 か月以内に割り増し助成分のみ別途申請する必要がある。

(1)人材開発支援助成金(厚生労働省)

1)計画届様式へ必須項目の記載

改訂に伴う申請様式等の変更があったため、NISA では訓練実施計画届様式に NISA 研修内容搭載してわかりやすくまとめ、また、作成時の注意点等を労働局に問合せ・確認を行い、申請時の手助けとなるよう会員に連絡した。

2)訓練実施計画届書のチェック支援 2019(R01)年3月～(3月末までの申請分は前年度制度適用)

- i) 人材開発支援助成金は、初回訓練計画届は研修・訓練開始の1カ月前まで、以降新規の研修受講の際は、訓練開始1カ月前までに、また訓練計画内容の変更(人数・受講者等)は訓練開始の前日までに「変更届」の提出が必要である。
 - ii) 計画時点では長崎労働局へ申請(提出)するが、「訓練計画実施届」であり認定ではない。研修終了後、2ヶ月以内に「支給申請」を実施した後、労働局で審査され支給決定が行われる。
 - iii) 保管必須書類として「事業内職業能力開発計画書」の作成要領書を作成し通知した。
 - iv) 研修実施場所は当初は決定せず、受講者数・インターネット接続環境等研修内容により決定する。このため決定次第、受講企業から研修場所を変更届としての提出が必要であったが、人材開発支援助成金に係る研修実施場所に関する委任状を事務局に提出いただき、研修毎に事務局で纏め長崎労働局へ研修実施場所を提出し、受講企業の負担軽減と申請漏れの防止を図っている。
 - v) 「訓練実施計画届」「変更届」等共同チェックの支援を実施した。
- ### 3)支給申請書、提出書類のチェック支援(事務費:確定支給額の10%、認定実習併用職業訓練は1%)
- i) 支給申請は「各訓練終了日の翌日から2ヶ月以内」に申請書の提出が必須。
 - ii) 共同チェックについては、年間を通して「各研修の終了から2ヶ月以内」に実施した。支給申請共同チェックは、研修が終了次第順次実施した。

(2)留意点等のメールによる配信と対面・電話相談

V 情報収集提供事業(「情報提供事業」)

政府をはじめ地方公共団体では、地域情報化に向けて、広く産業界および一般利用者への情報サービスの向上や業務システムの最適・最新化を図るため、情報通信技術(ICT)化を推進する。更に産業構造変革による生産性向上を行うには、IoTの取込みが欠かせない。

これらの実現のためには、ICT化、およびAI・IoTに関わる政府をはじめ地方公共団体、および産学の取組みの情報を逸早く収集し広く周知し、これを基に認識を深めまた知見を深めていくことが重要である。

その収集・周知の一環として、地域や国内外の情報サービス産業に関わる情報をHP・メールにより広く提供し、会員企業、更に会員外企業の繁栄を目指して活動する。更には、自治体、各種団体等と連携・協力しながら、地域のICT化の取組みや施策の提案等を行う。

(NISAのホームページを地域におけるICT関連ポータルサイト化とすべく推進)

(1)提供項目:2019年度掲載分(2019年4月1日～2020年3月31日) 合計315件

1) 会員専用情報(会員・役員).....	45件
2) 加入団体(ANIA・JISA)情報.....	110件
3) 政府(総務省、経産省、厚労省)情報.....	22件
4) 自治体(長崎県、長崎市、他)情報.....	67件
5) 関連団体(中央会・工業連合会・他)情報...	10件
6) 教育機関(大学・高専・高校・他)情報.....	10件
7) 研修、講座、セミナー情報.....	40件
8) その他情報.....	11件

情報源として、一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)、一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(ANIA)、総務省九州総合通信局、経済産業省九州経済産業局、厚生労働省、長崎県・市、公益財団法人長崎県産業振興財団、長崎県工業技術センター、佐世保情報産業プラザ、長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、佐世保工業高等専門学校、等からの情報をNISAホームページ「お知らせ欄」に掲示すると共に重要な情報は会員宛てにメール配信し周知を図った。(NISAホームページ参照)

ICT化に関わる政府をはじめ地方自治体、産学及び団体が取組んでいる施策に関する情報を産学官で共有し、その情報化に関する啓蒙普及活動の一環として、産学官の専門家を招聘し講演会・セミナーを開催した。2020年2月以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためセミナーの中止が相次いだ

(1)事業

- 1)開催回数 : 2～4回/年
- 2)案内方法 : 県、市、大学、各種団体、会員にメール配信、および当協会のHPに掲載
- 3)対象 : 会員および非会員(行政職員、大学職員、および各種団体職員)
- 4)参加人数 : 40～80名

(2)実施内容

1)通常総会時:講演会: 2019年(令和元年)6月20日(木) 16:15~17:45 ホテルセントヒル長崎

- i)演題 :「ドコモの協創及び5Gの取組みについて」(5Gに関連する、最新情報、共同研究等)
- ii)講師 :株NTTドコモ 九州支社 法人営業部 ICTビジネスデザイン担当課長 齊藤 知彦氏
- iii)概要 :NTTドコモの中期事業計画の柱として「+d協創」の活動を掲げ、実証実験を昨年から加速して行ってきたので、その事例を画像を交えて紹介する。
また、来年度から商業サービスとしてスタートする「5G 移動通信システム」の概要とビジネスとして加速するためのドコモの取組みについて紹介する。
- iv)聴講者 :117名(会員 99名、非会員 18名)

2)新春講演会: 2020年(令和2年)1月23日(木) 16:00~17:30 ホテル セントヒル長崎

- i)演題 :「これからの経営の新基準~SDGsを戦略的に活用する経営とは~」
- ii)講師 :株式会社ビーコンラーニングサービス 代表取締役社長 近藤 雅人様
- iii)概要 :2015年9月に国連で採択されたSDGsは、いまや多くの企業や自治体がCSR報告書や中期計画、ホームページ等に掲げるようになった。
しかし、掲げているだけで実態が伴わない組織や取り組んではいない組織が少なくない。
「環境」、「社会」、「事業」の3つの持続可能性を実現する経営にシフトして行くまでにはいくつかのステージがあり、そのステージを上る必要がある。
そのステージが上がっていくためには「なぜ自組織はSDGsに取り組むのか」、「今、自組織はどの段階にいるのか」を確認し、適切な手立てを選ぶことが早道である。
SDGsの概要とうまく取り組まれている事例をもとに、事業の持続的成長と企業価値向上のために不可欠なサステナビリティの考え方について紹介する。
- iv)聴講者 :115名(会員 87名、非会員 26名)

3)セミナー開催: 2020年(令和2年)2月21日(金)、出島交流会館

- i)テーマ:「中小企業のための 今取り組む サイバーセキュリティ」セミナー
- ii)講師 :独立行政法人情報処理推進機構(IPA) 江島 将和様
- iii)内容 :中小企業向けにIPAが作成した情報セキュリティ教材、及び資料等を活用し、初心者にもわかり易いように事例や映像を交えて紹介して戴いた。
- iv)参加者:40名(NISA会員 10名)

VII 理事会(役員会) 主な項目のみ下記に記す (敬称略)

(1)第1回 理事会(役員会) 2019-4-25(木) 15:30~17:00 出島交流会館 9F
議事録担当 須藤 英明理事(出席理事 15名、監事 2名)

【役員以外出席者】(理事会開始前に①②を紹介)

- ①「H31年度長崎県新産業創造課の実施事業について」
・長崎県産業労働部 新産業創造課 係長 中川 哲朗様、係長 坊上 英樹様
同 係長 坊上 英樹様、主任技師 中川 豪様
- ②「デジタル化支援コンサルティングのご案内」
・(株)十八銀行 営業統括部 デジタル戦略室長 山田様、同、業務役 岩瀬様
・(株)親和銀行 営業推進部 デジタル化支援 G 部長代理 井川様

【理事会】

- 1)H31年度通常総会の日程・講演会テーマ・わが社の一押し発表企業、招待者について:承認
- 2)H30年度仮決算と仮法人税・仮消費税:承認
- 3)NISA委員会の「H30年度活動報告」と「H31(2019)年度方針と計画」:承認

(2)第2回 理事会(役員会) 2019-5-23(木) 15:30~17:15 出島交流会館 9F
議事録担当 山口 潤次郎理事(出席理事 10名、監事 2名)

【役員以外出席者】:なし

【理事会】

- 1)H31年度通常総会の日程・講演会テーマ・わが社の一押し等の確認:承認
- 2)H30年度決算と公益目的支出計画実施結果(監査5/9完了):承認
- 3)H31年度 JISA 地域活性化事業の募集(6/30申請締切):承認

(3)第3回 理事会(役員会) 2019-6-26(木) 13:00~13:30、ホテルセントヒル長崎 4F グラバー
議事録担当 石井 昭弘理事(出席理事 17名、監事 1名)

【役員以外出席者】:なし

- 1)H31(2019)年度 NISA 体制:確認
- 2)H31(2019)年度通常総会・講演会テーマ・わが社の一押し・交流会の体制:確認
- 3)H31(2019)年度 JISA 地域活性化事業の実施(募集:6/30 申請締切):確認

(4)第4回 理事会(役員会) 2019-7-25(木) 15:00~17:00 佐世保情報産業プラザ・大会議室
議事録担当 濱口 晴樹理事(出席理事 10名、監事 2名)

【役員以外出席者】:なし

- 1)交流委員会副委員長の選任について(城戸新任理事を選任する):承認
- 2)崎県立大学情報システム学科 授業「企業研究」講師(中野会長)選定について:承認
- 3)2019 年度 JISA 地域活性化事業の募集について (7/8 申請済):確認
- 4)第 41 回全情連大会 ANIA北海道・札幌大会(10/17, 18 開催)の参加者募集:確認

(5)第5回 理事会(役員会) 2019-8-22(木) 15:00~17:00 長崎市立図書館 2階 研修室 1-2
議事録担当 梁瀬 和夫理事(出席理事 15名、監事 1名)

【役員以外出席者】(理事会前に①を紹介)

・長崎市移住支援室 室長 渡辺 清英様、係長 茶屋本 裕様

①「長崎市移住支援補助金に関する説明」

【理事会】

- 1)H31(2019)年度 JISA 地域活性化事業の実施(募集:6/30 申請締切):承認
- 2)第 41 回全情連大会 ANIA北海道・札幌大会(10/17, 18 開催)の参加者募集:承認
- 3)長崎県工業技術センターとの意見交換会の開催について:承認
- 4)NISAニュース 24号(2019年8月)の発行について:承認
- 5)2020 年度 新入社員向け IT 技術者研修の開催について:承認

(6)第6回 理事会(役員会) 2019-9-19(木) 15:00~17:00 出島交流会館 9F
議事録担当 松尾 昌弥理事(出席理事 15名、監事 2名)

【役員以外出席者】(理事会前に①②を紹介)

・長崎県産業労働部 若者定着課 人材育成班 係長 佐々木 端士様

①「企業内教育体系説明会及び個別相談会」について

②「OJT指導者育成講習会」の開催(12/6)について

【理事会】

- 1)2020年(令和2年)新春講演会(1/23・木)テーマおよび講師の検討(企画委員会):承認
- 2)2020年(令和2年)新春「わが社の一押し」発表企業(2社募集)の検討:承認
- 3)長崎県工業技術センターとの意見交換会の開催について(テーマ選定):承認
- 4)2020 年度 新入社員向け IT 技術者研修のコース選定(C#.Net コースに決定):承認

(7)第7回 理事会(役員会) 2019-10-24(木) 15:00~17:00 長崎市立図書館 2階 研修室 1-2
議事録担当 荒木 久生理事(出席理事 13名、監事 2名)

【役員以外出席者】:なし

- 1)2020年(令和2年)新春講演会(1/23・木)テーマおよび講師の検討(企画委員会):承認
- 2)2020年(令和2年)新春「わが社の一押し」発表企業(亀山電機、九州教具)の検討:承認
- 3)令和2年(2020年)度 NISA 研修の講座選定アンケート協力について:承認

(8)第8回 理事会(役員会) 2019-11-21(木) 15:25~16:30 出島交流会館 9F
議事録担当 石橋 圭介理事(出席理事 10名、監事 1名)

【役員以外出席者】:(理事会前に①を紹介)

・長崎県 情報政策課 参事 村山 健一様、同 主事 早田 理沙様

①「長崎県官民協働クラウドの活用において、トライアルプランへの運用改善について」

【理事会】

- 1)新春講演会(1/23・木)テーマおよび講師の変更(企画委員会):承認
- 2)新春行事体制について(司会、受付係の決定):承認
- 3)2020 年度 NISA 研修の講座選定アンケートについて:承認

(9)第9回 理事会(役員会) 2019-12-19(木) 14:00~15:30 出島交流会館 9F
議事録担当 酒井 良文理事(出席理事 12名、監事 2名)

【役員以外出席者】:(理事会終了後に①を開催、18:30~懇親会、ビジネスクラブ会)

①工業技術センターとの意見交換会(研究キャラバン)

- ・長崎県工業技術センター 所長 橋本 亮一様、次長 兵頭 竜二様、部長 藤本 和貴様
- ・ 同 科長 田口 喜祥様、下村 義昭様、主任研究員 小楠 進一様
- ・長崎大学 情報系新学部創設準備室 室長 教授 西井 龍映様、准教授 竹下 哲史様
- ・長崎県産業振興財団 事業化推進室 川原 芳彦様、阿野 正様、星 謙二様

【理事会】

- 1)2020年(令和2年)新春行事「わが社の一押し・講演会・交流会、招待者」:承認
- 2)長崎県工業技術センターとの意見交換会(研究キャラバン)について:承認
- 3)令和2年(2020年)度 NISA 研修の講座決定(講座名、講座数、開催日程):確認
- 4)ANIA 新春交歓会(東京霞が関ビル 35階、開催日 2/6)出席者について:確認

(10)第10回理事会(役員会) 2020-1-23(木) 13:30~14:30 ホテルセントヒル長崎 4F グラバー
議事録担当 高橋 康至理事(出席理事 17名、監事 2名)

【役員以外出席者】:なし

- 1)2020年(令和2年)新春行事「わが社の一押し・講演会・交流会」:承認
- 2)令和2年(2020年)度 NISA 研修の講座決定(講座名、講座数、開催日程):承認
- 3)ANIA 新春交歓会(東京霞が関ビル 35階、開催日 2/6)出席者について:承認

(11)第11回理事会(役員会) 2020-2-20(木) 15:00~17:00 出島交流会館 9F(書面審議)
議事録担当 酒井 良文理事(出席理事 9名、監事 1名)

【役員以外出席者】:なし

- ・理事総数 20名中、当日出席理事 9名(過半数以下)であったため理事会が不成立。「書面審議」とした。
 - ・全理事に対し議案の電磁的承認(メール)を諮り、書面審議の結果、理事 20名全員の承認を得た。
- 1)2020年(令和2年)度理事会・役員会の開催日程について:承認
 - 2)2019年度決算(予想と対策)について(1月末時点での仮決算報告):確認
 - 3)NISA委員会「平成31(2019)年度活動報告」と「令和2(2020)年度方針と計画」:確認
 - 4)2020年度(令和2年度) NISA 研修概要とスケジュール等」冊子の送付・HP掲載:承認

(12)第12回理事会(役員会) 2020-3-19(木) 15:00~17:00 出島交流会館 9F
議事録担当 柿田 茂博理事(出席理事 14名、監事 1名)

【役員以外出席者】:なし

- 1)令和2(2020)年度 任期満了に伴う役員(理事・監事)の公募。(公募開始 4/9、締切 4/20):承認
- 2)令和2(2020)年度 通常総会の日程・講演会テーマの検討:承認
(通常総会、わが社の一押し、講演会、産学官交流会の開催については、コロナウイルス感染症対策の状況を勘案し4月理事会で審議する)
- 3)令和元(2019)年度決算・予想と対策(収益事業)(2月末時点での仮決算報告):確認
- 4)NISA委員会「平成31(2019)年度活動報告」と「令和2(2020)年度方針と計画」:確認
- 5)石井税理士事務所(公益法人会計)への会計業務追加委託について:承認